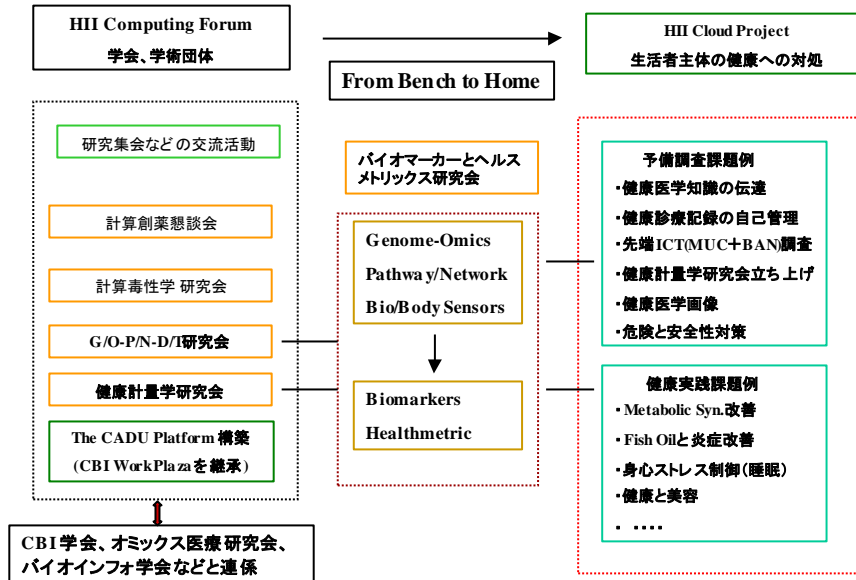


HII Cloud 事業の特徴

1. 薬品研究開発の Portal との連動。R&D Solution 企業/CRO からの広告期待。



目標は、「基礎研究の成果を家庭や臨床へ！」

鍵は統合 Omics から Biomarker や Healthmetrics への橋渡し研究と事業にあり！

2. 健康食品、サプリメント事業との違い

(1) ICT が先導：スマートフォンとクラウドの組み合わせ

4-2

Mobile/Cloud Medicine

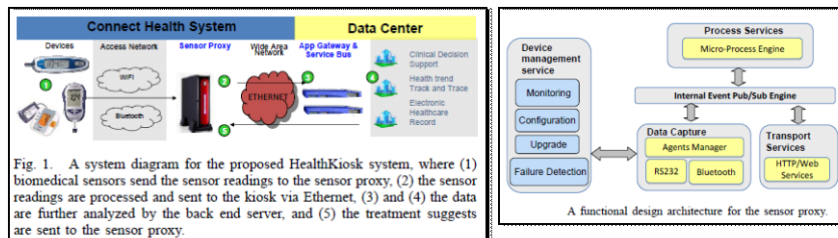
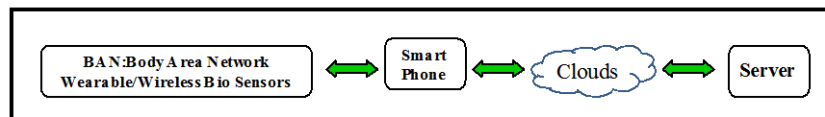
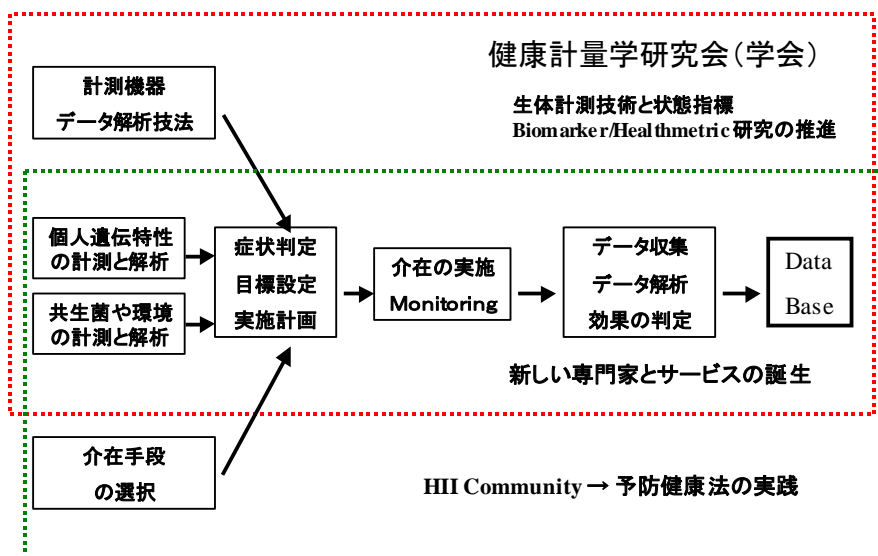


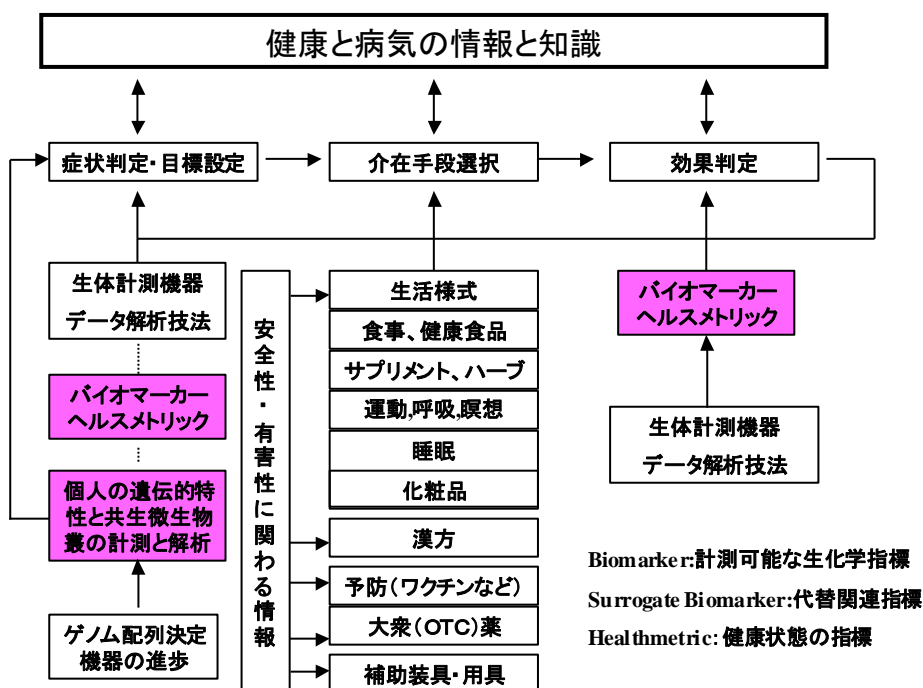
Fig. 1. A system diagram for the proposed HealthKiosk system, where (1) biomedical sensors send the sensor readings to the sensor proxy; (2) the sensor readings are processed and sent to the kiosk via Ethernet; (3) and (4) the data are further analyzed by the back end server, and (5) the treatment suggests are sent to the sensor proxy.

Experiment in Beijing (北京) by IBM Research-China: C. H. Liu et al., Health Kiosk: A Family-Based Connected Health care System for Long-Term Monitoring, IEEE 2011 Workshop on M2MCN, 241-246, 2011.
[http://domino.research.ibm.com/library/cyberdig.nsf/papers/A8960961E265203C852578260050C406/\\$File/r25096.pdf](http://domino.research.ibm.com/library/cyberdig.nsf/papers/A8960961E265203C852578260050C406/$File/r25096.pdf)

(2) ゲノム医学と関係させる (CBI 学会と田中博研究室 : G/O-P/N-D/T 研究会、オミックス医療研究会との関係) + データ解析の専門家のグループと関係、Biomarker/Healthmetric 探索を重視する。生活者主体の治験組織。



(3) 薬や医療と連続した予防、健康、Self-Medication を指向する : 生活者主体。



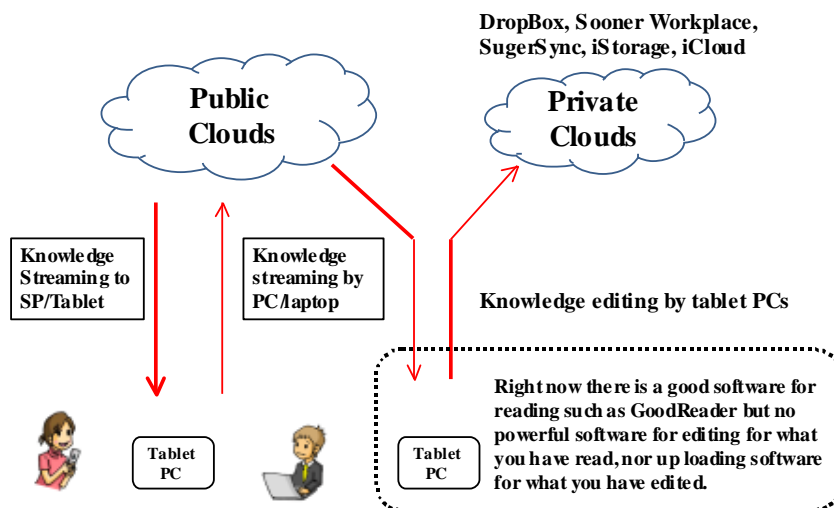
3. 健康医学知識の収集と配信事業

対象は、医師、薬剤師、栄養士、コメディカル Co-Medical や意欲のある生活者。

(1) 鍵となる技術は、Public Domain からの収集、弁別と配信。

3-3

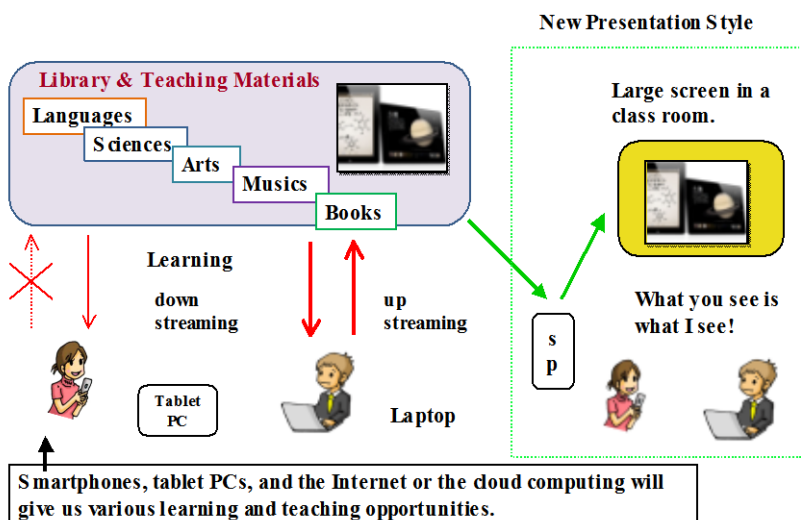
Knowledge Editor for Clouds



(2) 将来は、学校（保健）教育やセミナーのやり方を革新する（ICA は、ネット上の大学講義である Open Course を、基幹事業のひとつと考えている）。

3-1

Learning & Teaching



4. HII Cloud 事業の旗艦サイト（案）

（1）サイトの使命

生物医学革命と ICT の進歩を、健康維持とサービスのイノベーション（Health Innovation Initiative, HII）に結びつける活動に関わっている、あるいはそのことに興味をもっている専門家と生活者の双方に、最新の情報と知識を提供するとともに、情報交換と交流の機会も提供する。

（2）主な関係者 Stakeholders

- ・ 大学、医療（関連）機関、企業、公的な研究機関の研究者、専門家
- ・ Solution 提供企業、とくに ICT 企業
- ・ 規制関係者
- ・ その他、関連団体

（3）これは、健康計量学研究会（The Healthmetrix Society）に活動連係した、どちらかと言えば専門家や Solution 企業向けのサイトであり、Commodity を売るサイトとは、性格を異にする。下記はその究極のイメージであるが、最初は、もっとわかりやすいサイトから出発する。

